ファースト・パトロネージュ・プログラム

第9回
2026・冬



出展作家21名

2026年12月3日(木)・4日(金)・5日(土) 3日間

時　間　一般入場
12月3日(木)14:00－19:00
4日(金)10:00－18:00
5日(土)10:00－17:00入場〆切

プレビュー（ご招待者様のみ）
12月3日(木)13:00－14:00

会　場　**KITTE地下1階　東京シティアイ パフォーマンスゾーン**
〒100-7090 東京都千代田区 丸の内2-7-2 KITTE地下1階
東京駅地下道で直結 JR東京駅丸の内南口より徒歩約1分

入場料　無料　展示即売

Instagram LIVE 開催のお知らせ

会期初日 12月3日(木)19:15～

会場よりInstagram LIVEを配信いたします！会場の展示の様子をリアルタイムでご紹介しながら、出展作家の皆様にもご登場いただき、作品への想いや制作について、生の声をお届けします。LIVEを通して、展示会場の臨場感と若きつくり手たちの言葉をお楽しみください。

［問合せ先］**ファースト・パトロネージュ・プログラム事務局**
公益財団法人川村文化芸術振興財団 https://www.kacf.jp
一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン
〒104-0061 東京都中央区銀座 4-3-6 G4 BRICKS BLD. 7階
TEL:03-6228-6454　FAX:03-6228-6750　E-mail:fpp.info@thecreationofjapan.or.jp
https://thecreationofjapan.or.jp

主催　公益財団法人川村文化芸術振興財団
共催　香川県、長野県塩尻市
協力　一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン(CoJ)

公益財団法人 川村文化芸術振興財団 Kawamura Arts and Cultural Foundation

古田 航也［金工作家、金沢卯辰山工芸工房 金工工房 専門員］**推薦**



佐川 和暉 Sagawa Kazuki 金工作家

異なる金属を積層し、唯一無二の表情を持つ木目金を自ら生み出す

木目金を、自らの手で生み出す「素材」として捉えています。異なる金属が重なり、削られることで現れる唯一無二の表情から、自然を作り出すような感覚で造形を生み出しています。



2001　茨城県生まれ
2023　長岡造形大学造形学部美術・工芸学科 卒業
2025　長岡造形大学大学院造形研究科
　　美術・工芸領域 修了
2025～　金沢卯辰山工芸工房
　　金工工房 技術研修者
現在　石川県在住、制作

保木 詩衣吏［ガラス造形作家、金沢卯辰山工芸工房 ガラス工房 専門員］**推薦**



今田 莉野生 Imada Rinoi ガラス造形作家

言葉や感情など、目に見えないものをガラスで可視化する

言語に基づくアイデンティティや感情の刹那を掬い上げることを主題に、素材としてのガラスを用いるだけでなく、思考の道具やそのうつわとしても活用し、吹きガラスをベースに多角的な制作を行っています。



1995　秋田県生まれ
2019　カリフォルニア州立大学サンバーナディノ校
　　(CSUSB) スタジオアーツ学科 卒業
2021　ロチェスター工科大学（RIT）修士課程ガラス専攻 修了
2023　Penland Winter Residency 招聘
　　GlazenHuis Hot Glass Residency 招聘
2024～　金沢卯辰山工芸工房 ガラス工房 技術研修者
現在　石川県在住、制作

宮本 崇輝［ガラス作家、富山ガラス造形研究所 講師］**推薦**



若色 正太 Wakairo Shota ガラス工芸作家

ガラスの“光”と“色”が織りなす表情や造形を、様々な技法を活かし表現した作風

私はガラス素材の”透過”と”色彩”に焦点を当て、それらが織りなす表情と、無機質な存在に温かな柔らかさを感じさせる造形を探究しています。



1997　東京都生まれ
2019　多摩美術大学 美術学部 工芸学科
　　ガラスプログラム　卒業
2019～2022　あづみ野ガラス工房 勤務
2022～2026　富山ガラス工房 勤務
2026～現在　長野県安曇野市にアトリエを構え、
　　制作拠点とする

会場アクセス

KITTE地下1階 東京シティアイ パフォーマンスゾーン



公共交通機関からのアクセス
https://marunouchi.jp-kitte.jp/guide/access.jsp

東京シティアイまでのアクセス
https://www.tokyocity-i.jp/about/access

中川 周士［株式会社中川木工芸 代表取締役］**推薦**



崔 錬秀 Choi Ryeonsu 木工作家

京指物

伝統的な木工技法を基礎に、素材の特性を生かしながら、現代の暮らしに寄り添うものづくりを目指しています。



1990　神奈川県生まれ
2013　京都伝統工芸大学校木工専攻 修了
2013～　有限会社黒田工房 入社
現在　滋賀県在住、制作

深井 桂子［Keiko Art International 代表、アートコーディネーター］**推薦**



内田 海宇／カミノタネ

Uchida Myu ／ Kaminotane 紙漉工芸家

植物繊維それぞれの特徴を生かした、原料処理や紙漉きの過程でできる表現

それぞれの植物と、継承されてきた和紙の文化・技術を生かして、使い手に合った紙づくりを意識しています。自然の恵みと人の手から生まれた紙を通して、人と自然、人と人のつながりを感じていただけたら嬉しいです。



1999　東京都生まれ、千葉県育ち
2021　お茶の水女子大学文教育学部 卒業
　　千葉から高知へ移住　手漉紙の制作を始める
2022　土佐和紙短期研修
2025～現在　高知県在住、制作

作家推薦協力

荒 姿寿［染色家、女子美術大学芸術学部デザイン・工芸学科工芸専攻 准教授］
石坂 健一［塩尻市副市長］
大井 真希［陶造形作家、金沢卯辰山工芸工房 陶芸工房 専門員］
小笠原 森［美術家・陶芸家、東京家政大学造形表現学部 非常勤講師、鶴見大学短期大学部 非常勤講師］
加藤 尚子［ガラス造形作家、女子美術大学芸術学部デザイン・工芸学科工芸専攻 准教授］
川浦 由華［石川県立九谷焼技術研修所 技術指導課課長］
北野 勝之［岐阜県立多治見工業高等学校専攻科陶磁科学芸術科 主任］
駒井 正人［陶磁器作家、多治見市陶磁器意匠研究所 課長代理］
小森 邦衛［漆芸家、石川県立輪島漆芸技術研修所 所長、公益社団法人日本工芸会正会員、重要無形文化財「螺鈿」保持者、邦衛工房 主宰］
笹井 史恵［漆芸家、京都市立芸術大学美術学部工芸科 教授］
佐藤 碧［染色家、金沢卯辰山工芸工房 染工房 専門員］
繁田 真樹子［染色作家、京都芸術大学通信教育課程美術科染織コース専任］
住谷 晃一郎［香川県政策部文化芸術局文化振興課 美術コーディネーター］
中川 周士［株式会社中川木工芸 代表取締役］
中田 ナオト［アーティスト、名古屋芸術大学芸術学部芸術学科工芸コース 准教授］
長野 一艸庵（二代垤志）［釜師、公益社団法人日本工芸会正会員］
橋本 圭也［繊維造形作家、東京藝術大学美術学部工芸科染織分野 教授］
畠山 耕治［金属作家、前金沢美術工芸大学工芸科 教授］
平岡 正博［三重県組紐協同組合 専務理事］
深井 桂子［Keiko Art International 代表、アートコーディネーター］
深井 聡一郎［東北芸術工科大学芸術学部工芸デザイン学科 教授、東北芸術工科大学大学院芸術工学研究科長］
古田 航也［金工作家、金沢卯辰山工芸工房 金工工房 専門員］
保木 詩衣吏［ガラス造形作家、金沢卯辰山工芸工房 ガラス工房 専門員］
町田 久美子［東京手描友禅伝統工芸士、有限会社マチダ 代表取締役］
水代 達史［金属造形作家、金沢美術工芸大学工芸科 准教授］
宮永 春香［陶磁器造形作家、金沢美術工芸大学美術工芸科 准教授］
宮本 崇輝［ガラス作家、富山ガラス造形研究所 講師］
山田 晃輔［金沢仏壇商工業協同組合 理事長、有限会社山田仏具店 専務］
山本 健史［金沢美術工芸大学工芸科 教授］
若杉 聖子［陶芸家、京都市立芸術大学美術学部工芸科 准教授］　※五十音順・敬称略

「ハジメテを応援」みんなで！

FIRST PATRONAGE（ファースト パトロネージュ）とは、つくり手のスタートを応援することです。
つくり手を推薦する人、この機会を提供する人、
そしてつくられたものを買う人、みんなでつくるプログラムです。

FPPとは

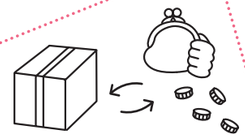
1 推薦
全国の美術工芸教育機関や、工芸専門家、著名作家が、社会に送りだしたいつくり手を推薦



2 制作
各方面から推薦されたつくり手のみなさんに、使うもの、日々楽しんでほしいものをつくってもらいました



3 購入
買って、使って応援する。お金はものづくりをするためのガソリンです



4 収集
購入者には、支援の証としてファーストパトロンカードを進呈！将来にわたってつくり手を見守り、その活躍を一緒に喜ぶことができます



「ファースト・パトロン・カード」のたのしみ
カードにはつくり手からの御礼のコメントが記載されていて、今後のつくり手の活躍によっては、最初の一歩を応援したと誇れる記録になります。社会に「ハジメテ」を応援する心を一緒に拡げていきましょう！

ファースト・パトロネージュ・プログラム（FPP）
第9回 2026冬

本プログラムでは、工芸の教育ならびに後進の指導にあたっている方々、工芸産地を擁する自治体から推薦いただき、審査会で選出された、21名の若手工芸作家（陶芸、染織、染色、繊維工芸、漆芸、金工、ガラス、木工、和紙）が出展いたします。

審査員――黒田耕治氏（しぶや黒田陶苑）、小山登美夫氏（TOMIO KOYAMA GALLERY）、遠山正道氏（株式会社スマイルズ）、福田朋秋氏（高島屋京都店美術部）、山田遊氏（method inc.）※五十音順・敬称略

2026年度 展覧会テーマ

- **花**をめぐる創作　花器、花がモチーフ等
- 新規性に溢れた**伝統知**の体現者
- **用の喜び**に溢れた作品のつくり手

https://fpf.kacf.jp
ファースト・パトロネージュ・プログラム公式サイト

川村文化芸術振興財団の各SNSアカウントで、ファースト・パトロネージュ・プログラムの最新情報や出展アーティストの紹介をご覧ください。
ぜひFPP公式Instagramをフォローして、会期初日のInstagram LIVEにもご参加ください。

https://www.facebook.com/kacf.jp/
https://www.instagram.com/fpp.kacf/
https://x.com/kacf2017

宮永 春香［陶磁器造形作家、金沢美術工芸大学美術工芸科 准教授］**推薦**



荒木 いちご Araki Ichigo 陶芸作家

江戸の浮世絵や玩具から着想を得て、上絵加飾を施した陶置物を制作しています。

江戸時代の浮世絵や玩具などから着想を得て、陶置物を制作しています。縁起物や吉祥のモチーフに心惹かれ、陶造形と上絵加飾を通して、自身の作品も誰かにとってそのような存在になることを目指しています。



1995 滋賀県生まれ
2023 金沢美術工芸大学工芸科 卒業
2025 金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科 修士課程工芸専攻 修了
2025 金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科 博士後期課程 入学　在学中
現在　石川県在住、制作

川浦 由華［石川県立九谷焼技術研修所 技術指導課課長］**推薦**



南 紗貴子／conecocoro

Minami Sakiko／conecocoro 陶磁器作家

一つひとつ手捻り成形したパーツを九谷和絵具で彩色し、植物の瑞々しい生命力を表現

土が作る様々なかたち、九谷和絵具の瑞々しい輝き、やきものという恒久的な素材で、植物の強かな生命力を表現し、それぞれの命が元来持つ根源的な、底力のようなものを感じてもらえる作品を作っていきたい。



1989 千葉県生まれ、埼玉県育ち
2011 多摩美術大学 グラフィックデザイン学科 卒業
2017 石川県立九谷焼技術研修所 本科 卒業
2018 石川県立九谷焼技術研修所 研究科 卒業
2018～2021 佐藤剛志氏に師事
現在　石川県在住、制作

荒 姿寿［染色家、女子美術大学芸術学部デザイン・工芸学科工芸専攻 准教授］**推薦**



藤野 あさぎ Fujino Asagi 染色作家

公園に咲いている小さな花に心惹かれ、日常の中の小ときめきを型染めで表現

私は型染めの技法を用いて帯や染色小物を制作しています。公園や道端などの小さな花をモチーフに何気ない暮らしの中にあるささやかなときめきを顔料の持つ鮮やかな色と型を彫ることで生まれる形で表現しています。



1999 東京都生まれ
2024 女子美術大学大学院美術研究科美術専攻 博士前期課程工芸（染）修了
2024 女子美術大学芸術学部デザイン・工芸学科 工芸専攻 染分野 助手
2026 女子美術大学付属高等学校・中学校 常勤講師
現在　東京都在住、国画会会友

山田 晃輔［金沢仏壇商工業協同組合 理事長、有限会社山田仏具店 専務］**推薦**



藤枝 政和 Fujieda Masakazu 金沢仏壇 蒔絵師

加賀蒔絵の技法を引き継ぐ、金粉や青貝を用いた豪華絢爛な美しさ

金沢仏壇の蒔絵技術で仏壇・仏具のオーダーメイドに応えています。本展では伝統的な仕事や技術を応用した作品を展示します。新たな制作の御相談や御依頼に繋げたいと考えています。



1989 京都府生まれ
2009 京都市立銅駝美術工芸高等学校漆芸科 卒業
2016 金沢学院大学美術文化学部芸術文化学科 卒業
2018 金沢美術工芸大学大学院 修了
有限会社Otk大竹仏壇製作所 入社
現在　石川県在住、制作

大井 真希［陶造形作家、金沢卯辰山工芸工房 陶芸工房 専門員］**推薦**



詹 凱婷 Chan Kaiting 陶芸作家

巻くことで生まれる文様と、焼成によって変化する痕跡

巻くことで陶に文様を生み、その痕跡が焼成の中で変化していく過程を作品に取り込んでいます。記録は変化を止めることではなく、変化した時間ごと残すことだと考えています。



1989 台湾生まれ
2022 京都精華大学芸術学部陶芸専攻 卒業
2024 京都精華大学大学院芸術研究科 博士前期 修了
2025 金沢卯辰山工芸工房を拠点に制作
現在　石川県在住、制作

繁田 真樹子［染色作家、京都芸術大学通信教育課程美術科染織コース専任］**推薦**



鈴鹿 萌子 Suzuka Moeko 染織作家

藍染めした麻糸を手織りすることで、淡く模様が浮かび上がる布作品

時のかたちを、織と藍で表現しています。にじみやずれを制御しきらない染織から生まれる、淡く浮かび上がる模様。アートと日用のあいだで、空間をしつらえる美しい布のかたちを探しています。



1989 京都府生まれ
2020 京都造形芸術大学（現：京都芸術大学）通信教育部 染織コース卒業
現在　京都府在住、制作

平岡 正博［三重県組紐協同組合 専務理事］**推薦**



松島 康貴／縁舞

Matsushima Kouki／envu 組紐作家・ディレクター

伝統的な組紐技術を基盤に、現代の暮らしに向けた商品を企画・デザインする

日常にありながら見過ごされがちな紐をテーマに制作活動をしております。製品開発では機能と調和する紐の美しさを追求し、作品制作では紐の造形や技術そのものを可視化しています。



1992 三重県生まれ
2013 大阪デザイナー専門学校 プロダクトデザイン学科卒業
2013 インテリア製品を展開する企業に勤務
2015 家業である松島組紐店へ入社
現在　三重県在住、制作

笹井 史恵［漆芸家、京都市立芸術大学美術学部工芸科 教授］**推薦**



矢作 玲乃亜 Yahagi Renoa 漆芸家

漆と木を用いたオブジェ作品を制作

漆の艶めかしさと木のあたたかさを活かし、実在するものをモチーフに、人に見立てて造形しています。柔らかな形と美しいドレスを纏うような佇まいを表現し、素材や技法を通して新たな工芸の表現を模索しています。



2000 京都府生まれ
2023 京都市立芸術大学美術学部 工芸科漆工専攻　卒業
2026 京都市立芸術大学大学院修士課程漆工 修了
現在　京都府在住、制作

駒井 正人［陶磁器作家、多治見市陶磁器意匠研究所 課長代理］**推薦**



高橋 朋也 Takahashi Tomoya 陶磁器作家

純粋な土の魅力にデジタル技術を取り入れた作品を目指しています。

作品を見ていただける貴重な機会に感謝します。伝統的な陶磁器を再解釈し、量産を支える現代の美濃焼の成形技術とデジタル技術を組み合わせながら、土の魅力を引き出す作品を制作しています。



1994 岐阜県生まれ
2026 多治見市陶磁器意匠研究所 第67期 技術コース 修了
2026 多治見市陶磁器意匠研究所 セラミックスラボ 在所中
現在　岐阜県在住、制作

佐藤 碧［染色家、金沢卯辰山工芸工房 染工房 専門員］**推薦**



なかむら ずい Nakamura Zui 染色家・画家

絵画としての染色という視点から、色糊と筒描染を用いた着色防染による作品を制作

描きたいと思った情景や色彩を、植物の姿に寄せて染めています。ふと目に入って少し嬉しくなるもの、機嫌良く眺めていられるもの、心に色彩を灯すような作品を目指しています。



1989 埼玉県生まれ
2013 女子美術大学短期大学部専攻科創造デザインコース(テキスタイル) 修了
筒描染による作品制作を始める
2013～2018、2021～2024 民間企業にて勤務
2018～2021 女子美術大学短期大学 助手
2024～ 金沢卯辰山工芸工房 染工房 技術研修者
現在　石川県在住、制作

住谷 晃一郎［香川県政策部文化芸術局文化振興課 美術コーディネーター］**推薦**



金澤 櫻子 Kanazawa Sakurako 漆芸作家

香川県の漆の伝統技法である蒟醤を使い、色とりどりの色彩と複雑な模様で表現を行う

自然の造形や時間の積み重ねが生み出す美しさに着目し、静けさや生命の気配を感じられる表現を大切にしています。美しいだけではなく、どこか違和感や緊張感を含んだ作品を目指して制作しています。



1998 香川県生まれ
2020 武蔵野美術大学造形学部 工芸工業デザイン学科金工専攻 卒業
2024 香川県漆芸研究所 研究生課程 修了
2026 香川県漆芸研究所 研究員課程 修了
現在　香川県在住、制作

©高橋章

長野 一艸庵（二代垤志）［釜師、公益社団法人日本工芸会正会員］**推薦**



江田 朋哉 Eda Tomoya 釜師

和銑を用いた茶の湯釜・鉄瓶の造形表現

和銑による伝統的な鋳造技術と現代の造形表現を掛け合わせ、これまでにない茶の湯釜を探求しています。世界に一つの、あなたの一釜との出会いになれば幸いです。



1993 栃木県生まれ
23代続く鋳物師 江田家の次男に生まれる
2018 東京藝術大学大学院美術研究科鋳金専攻 修了
2018 釜師二代長野垤志氏に師事
2021 天明鋳物師・釜師として独立
2025 日本工芸会 正会員認定
現在　栃木県在住、制作

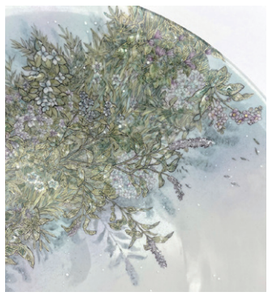
若杉 聖子［陶芸家、京都市立芸術大学美術学部工芸科 准教授］**推薦**



藤木 美里 Fujiki Misato 陶磁器作家

九谷焼の上絵付け技法で自然の美しさを描く磁器作品

九谷焼の花詰技法を使って、雨や雪などの天気による美しさと、動物や植物の生命感を表現することを目標に制作しています。移り変わる天気や動物による影の変化を観察しながら描いています。



1997 大阪府生まれ
2021 京都市立芸術大学美術学部工芸科 陶磁器専攻卒業
2021 石川県金沢市の九谷焼販売店に専属絵付け師として入社
2026 独立
現在　石川県在住、制作

深井 聡一郎［東北芸術工科大学芸術学部工芸デザイン学科 教授、東北芸術工科大学大学院芸術工学研究科長］**推薦**



林谷 美香 Hayashiya Mika 染色・縫布作家

縫い目そのものが構造体となる「縫布（ほうふ）」と、染色の淡くも深みのある色が特徴

日々の出来事等を記したドローイングや文章をもとに、記憶を抽象的な色面へと染めています。縫布は人生をほどき、縫い直す過程から生まれた作品。いつかあなたに寄り添い、あたためる一枚となることを願っています。



1992 山形県生まれ
2026 東北芸術工科大学大学院複合芸術研究領域 修了
市民向けの染色講師を務める
染色テキスタイルブランド「wasshoi by Mika Hayashiya」主宰
現在　山形県在住、制作

小森 邦衛［漆芸家、石川県立輪島漆芸技術研修所 所長、公益社団法人日本工芸会正会員、重要無形文化財「髹漆」保持者、邦衛工房 主宰］**推薦**



木村 正風 Kimura Masakaze 漆芸家

津軽塗を用いた日常使いの漆器制作

津軽塗の伝統を大事にしながら、自分なりの表現を追求しています。是非皆様にご覧いただければ幸いです。



2001 青森県生まれ
2022 石川県立輪島漆芸技術研修所専修科 卒業
2025 石川県立輪島漆芸技術研修所髹漆科 卒業
現在　木村漆工房 六代目、
重要無形文化財保持団体指定
津軽塗技術保存会 研修生
青森県在住、制作

畠山 耕治［金属作家、前金沢美術工芸大学工芸科 教授］**推薦**



倉坪 杏奈 Kuratsubo Anna クリエイター

ワックスや合成樹脂を含んだ素材や可燃性のある素材を用いた精密鋳造

自然がもっている現象や特性を活かした造形になるよう原型を作成しています。鋳造した時、作為部分と無作為部分が金属にどのような表情となって出てくるのか楽しみながら制作しています。



1989 岐阜県生まれ
2012 国立富山大学芸術文化学部 デザイン情報コース 卒業
現在　富山県在住、制作